

# 平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 73

千葉県立成田西陵高等学校 全日制の課程 全学科

## 1 期待する生徒像

### 園芸科

中学校生活全般にわたり、まじめに取り組み、次のア及びイの要件に該当する生徒

ア 本校の園芸科を志願する動機及び理由が明確であり、入学後も本校の教育活動に積極的に取り組む意思があること。

イ 本校入学後も特別活動等において意欲的に取り組む意思があること。

### 土木造園科

中学校生活全般にわたり、まじめに取り組み、次のア及びイの要件に該当する生徒

ア 本校の土木造園科を志願する動機及び理由が明確であり、入学後も本校の教育活動に積極的に取り組む意思があること。

イ 本校入学後も特別活動等において意欲的に取り組む意思があること。

### 食品科学科

中学校生活全般にわたり、まじめに取り組み、次のア及びイの要件に該当する生徒

ア 本校の食品科学科を志願する動機及び理由が明確であり、入学後も本校の教育活動に積極的に取り組む意思があること。

イ 本校入学後も特別活動等において意欲的に取り組む意思があること。

### 情報処理科

中学校生活全般にわたり、まじめに取り組み、次のア及びイの要件に該当する生徒

ア 本校の情報処理科を志願する動機及び理由が明確であり、入学後も本校の教育活動に積極的に取り組む意思があること。

イ 本校入学後も特別活動等において意欲的に取り組む意思があること。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 5教科の得点合計が100点未満の場合は、審議の対象とする。
イ 個々の教科の得点	5点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2)調査書 アの数値に、イ、ウ及びエについて加点（上限65点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 全学年の計が3以下または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年の出欠状況により、15点満点で加点する。 3か年の欠席の合計が21日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数により、20点満点で加点する。 ○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	次の①～③について、30点満点で加点する。 ①部活動で3か年継続して積極的に取り組んだと認められる記述 ②部活動等での県大会以上への出場等 ③生徒会4役、柔・剣道等初段以上、英検・漢検・珠算等各資格3級以上等
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

### (3)面接 [100点満点]

3名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ（a a a～d d d）ごとに得点化する。面接の得点の合計が30点以下の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び学科理解	志望の動機及び学科理解が明確である。
イ 特別活動等への意欲	特別活動等に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 学習意欲	学習に意欲的に取り組もうとしている。
エ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
オ 面接態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

## 4 選抜方法

### (1)選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	65点	100点	$(800 + \alpha - m)$ 点

（算式1）  $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95  
 $m$ ：中学校評定合計平均値

### (2)その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。  
イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

\*前期選抜で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しません。

## 平成31年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 73

千葉県立成田西陵高等学校 全日制の課程 全学科

### 1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：5分

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 5教科の得点合計が100点未満の場合は、審議の対象とする。
イ 個々の教科の得点	5点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 全学年の計が3以下の教科が3教科以上ある場合、または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年の欠席の合計が31日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

#### (3) 面接

3名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。3名の評価者の評価の組合せ（a a a～d d d）ごとにA・B・C・Dの4段階で評価する。評価Dの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び学科理解	志望の動機及び学科理解が明確である。
イ 特別活動等への意欲	特別活動等に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 学習意欲	学習に意欲的に取り組もうとしている。
エ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
オ 面接態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

#### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。  
イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。